

躍動

学生たちの活躍

「躍動—学生たちの活躍—」では、学生のサークル活動にスポットライトを当て、その活動を紹介していきます。今回は、九州大学トライアスロン愛好会「GAIA」の登場です。



2000年開催のシドニーオリンピックで正式種目となったトライアスロンは水泳(スイム)・自転車(バイク)・長距離走(ラン)を連続して行う競技です。今回の「躍動」では、トライアスロンに挑む九州大学トライアスロンサークルGAIA」を取材しました。工学部2年の大西鴻基(おおにしこうき)さんは8月28日に開催された、日本学生トライアスロン選手権に九州代表として出場した実力派でもあります。過酷なレースに挑む、九大生アスリートの素顔に迫ります。



「トライアスロン」と聞くとなかなかハードルが高そうな競技ですが、まずは、お二人が所属している、トライアスロン愛好会について、お聞かせください。

千田さん 愛好会の創設は1991年で今年、創設20周年を迎えました。部員は現在33名です。毎年8月に開催される全日本学生選手権をはじめ、様々な大会に向け日々、練習を行っています。

「トライアスロン」というと、まず非常に過酷なレースというイメージがあるのですが。

千田さん トライアスロンにはそのような「鉄人レース」や「己の体力の限界に挑戦」というイメージが強いので

のため、練習も限られた時間で、いかに効率よく練習するかを考えています。お二人は、そのような日々の練習を積んで、全国大会(平成23年8月23日開催 日本学生トライアスロン選手権)出場ですね。大会を振り返っていただきたいのですが。

千田さん やはり選手権になると、レベルが格段に違い、厳しく苦しい大会になります。そのような高いレベルの中で競技が出来たことは、大きな充実感もあり、そして凄く楽しかったというのが率直な感想です。実は大会前の練習で怪我をしてしまい、正直出場も危うかったのですが、ベストは尽くせたと思います。そして、大会では部員のサポートもあり、本当に九大でトライアスロンをやったよかったです。



大西さん 非常に暑い中の過酷な大会でした。自分としては納得いかない成績でしたが、それでも全力は出せたと思います。個人的には全国レベルを知ったことはすごく良かったので、練習を重ねて、来年の大会では、この雪辱を果たしたいですね。

大西さん 正直、九州の学生のレベルは、オリンピックの強化選手がいるような関東に比べて低いかもしれませんが、九大トライアスロン愛好会も伝統あるサークルです。その中で日々練習を重ねていけば、全国大会出場は夢ではないと思います。特に女子の部は、まだ競技人口も少なく、男子に比べて、全国への道も開けています。入部するなら、今がチャンスですよ。

先ほど、大会での部員のサポートの話もありましたが、サークルについても少し、お話を伺いましょう。

千田さん 全国大会に出場することも一つの目標ですが、部員には競技志向の人や、トライアスロンをエンジョイする人など、様々な部員がいます。部員のほとんどが大学入学して、トライアスロンを始めるのです

が、中にはほとんど泳げないのに、入部する人もいます。

泳げないのにトライアスロンに挑戦ですか？

大西さん 一見すると無茶な挑戦に思えますが、昔からの伝統で、そういった部員には先輩が付いてきつちり指導します。その甲斐もあって、ほとんど泳げなかった人でも、2、3ヶ月後には1.5kmを泳げるようになりますよ。

と各自が独自で練習に黙々と励むイメージがあるトライアスロンですが、自身が出場した大会や成績について、真剣な表情で答えていた二人も先輩・後輩と一つになったサークル全体の活動となると柔らかい表情に変わり、サークルでトライアスロンを楽しんでいる様子が伺えます。

最後に改めて、九大トライアスロン愛好会の魅力について語ってもらいました。

千田さん このように、全国大会を目指す部員や、まずは泳げるようになり、完走することを目標にスタートする部



ですが、実は、現在の主流は、オリンピック種目にもなっている水泳1.5km、自転車40km、長距離走10kmで競う「オリンピック・ディスタンス」です。私たちがこの種目を中心に練習し、大会に出場しています。

それでも過酷な競技には変わりがないと思いますが、やはりスタミナを重視した練習になるのですか？

千田さん もちろん、スタミナも重要ですが、実はいかにスイム、バイク、ランを上手く繋げるかという点がトライアスロンのポイントなのです。

繋げるというって？

千田さん 例えば、単に10km走ると、自転車で40km走った後に10kmを走るのでは、疲労の面からも全く違います。つまり、それぞれが早ければ、3つの合計タイムが単純に良くなるかと言えば、そうでもなく、トライアスロンではそれぞれの力をより発揮できるような「繋ぐこと」も重要な要素です。そ

員と様々な部員が自分のペースでトライアスロンを楽しんでいます。これも九大トライアスロン愛好会の魅力の一つだと思います。それに競技の後の充実感ほどのサークルにも負けないと思いますよ。そして、その後の皆で味わう温泉は至福の時です！

九州大学 トライアスロン愛好会 GAIA

九州大学トライアスロン愛好会GAIA Webサイト
http://f41.aaa.livedoor.jp/~gaia/